

八四三番

梅うめの花はな 折をりかざしつつ 諸もろ人ひとの 遊あそぶを見みれば  
都みやこしぞ思もふ

八四四番

妹いもが家へに 雪ゆきかも降ふると 見みるまでに こことだも  
紛まがふ 梅うめの花はなかも

八四五番

うぐひすの 待まちかてにせし 梅うめが花はな 散ちらずあ  
りこそ 思おもふ児こがため

八四六番

霞かすみ立たつ 長ながき春はる日ひを かざせれど いやなつか  
しき 梅うめの花はなかも